創造・参加・実践
No.768

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP（http://www.jrw-union.gr.jp）
JR西労組 LINE@ 新規登録受付中
「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!　@dzc0159s

JR西労組 WEST UNION

西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012　大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133
発行責任者　上村 良成
編集責任者　尾﨑 裕介

約80名が出席した女性ネットワーク委員会

第6回女性ネットワーク委員会開催

男女平等参画の重要性を学び「仕事」と「家庭」の両立に理解を深める

中央本部は、5月14日（水）、ホテルグランヴィア大阪において、「第6回女性ネットワーク委員会」を開催した。これまで女性ネットワーク委員会は、各地本・総支部の女性執行委員など、「女性」役員の出席に限定して開催してきたが、今回は、男女平等参画の更なる推進には、男性役員も理解の必要性があることから、各地本の担当役員の参加を要請し、約80名が出席した。

主催者を代表して挨拶する上村中央執行委員長▶

委員会は、田中政策調査・福祉対策部長が司会を務め、委員会開催の目的について説明を行った後、主催者を代表して、上村中央執行委員長は、2025春闘、2024年度の期末決算、女性活躍の重要性について挨拶した。

特に女性活躍については、これまでの方法を変えながら、女性が参画しやすい環境にしていく必要があると述べた。

委員会には各地本から男性役員も参加

その後、JR西日本ダイバーシティ推進室中山室長より、「ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて」、人財戦略部吉岡課長より、「JR西日本における育児・介護関連諸制度について」講義を受けた。

JR西日本ダイバーシティ推進室 中山室長

JR西日本人財戦略部 吉岡課長

中山室長からは、これからの女性活躍推進に向けた会社の取り組みなどについて説明を受けた。そして、吉岡課長からは、育児や介護に関する会社制度に加え行政サービスについて説明を受け、労使間でこれまで議論を積み重ねてきた制度と行政サービスを正しく理解し、セットで上手く利活用することで、「仕事」と「家庭」の両立がより図られることを知ることができた。

参加者からは、「会社の制度をより理解し、組合員から聞かれた時に生かしたい」「女性活躍の大切さと、推進する重要性が理解できた」などの意見が聞かれた。

西バス地本・中バス地本女性組合員意見交換会
バス会社で女性が活躍できる会社への意見交換

中央本部は、4月29日（火）、西阪急ビル地下会議室において、「西バス地本・中バス地本女性組合員意見交換会」を開催し、両バス地本の女性組合員など約30名が出席し、日頃の業務などについて、意見交換を行った。

冒頭、上村中央執行委員長は、JR西労組やJR西日本グループの制度やJR西労組の女性活躍の取り組みなどについて挨拶し、「職場の課題について率直な意見を出し合い、各会社に良い点を持ち帰る機会としてもらいたい」と述べた。

意見交換では様々な課題について話し合われた

その後、JR西労組の女性活躍に対する取り組みや、両バス地本の担当者から前回（2024年5月）の意見交換で出された課題や、育児・介護関係制度の改善や、会社との議論経過について説明を受けた後、現在の制度や業務、更にJR西労組の取り組みなどについて、意見交換を行った。

意見交換では、カスハラの対応やマニュアル、女性設備の課題、勤務制度の改善、女性運転士の状況と採用の課題、自動運転技術などについて情報交換することが出来た。

参加者からは、「各社の取り組みを知ることが出来て、勉強になった」「普段会えない方と話し合えてよかった」「JR西労組が課題に対して真剣に考え、対応してくれていることが分かった」などの感想があり、会社を超えた有意義な意見交換会となった。

6月は連合「男女平等月間」

1985年6月に男女雇用機会均等法が交付されたことを記念し、厚生労働省が1986年より6月を「男女雇用機会均等月間」とし、内閣府は、毎年6月23日～29日の1週間を「男女共同参画週間」としています。

そのため、連合は2004年より6月を「男女平等月間」と設定し、男女平等参画の取り組みをしています。

JR西労組トップメッセージ

ＪＲ西労組は、誰もが活き活きと働き続けられるよう、1人でも困っている組合員の声に耳を傾け続けます。

そして、女性参画を広げ、多様な力を発揮できる環境とすべく、すべての仲間とともに挑み続けていきます。

中央本部青年女性委員会 JR東海ユニオンとの合同学習会実施
横のつながりを大切に学習する

中央本部青年女性委員会は、5月18日（日）、西阪急ビル地下会議室において、JR東海ユニオン青年委員会と合同学習会を開催した。

冒頭、JR東海ユニオンユース坂上議長とJR西労組李澤青年女性委員長が挨拶し、「目的に捉われることなく、交流を深めながら楽しく学び、将来の糧にしてもらいたい」と述べた。

学習会では、JR連合相良組織局長より、「労働組合が取り組む政治・政策活動」について特別講義を受け、JR連合が取り組む政策や政策実現に向けた政治との関わりについて、具体例を交えながら説明を受けた。

特別講義後2つのテーマでディスカッションを行った

続いて、各単組の取り組み紹介を行い、JR西労組では、高杉事務長が、青年女性委員会で取り組む安全や、組織の取り組みを紹介した。

その後、「役員としてどうあるべきか」「安全に関してどう感じ、どう行動すべきか」の2つのテーマでディスカッションを行い、単組共通の課題や特徴ある取り組みについて学び、JR連合の仲間として、連携を行いながら活動していくことを誓い合い、学習会は終了した。

川柳　第25回文化・文芸作品コンクール／川柳・標語部門　［ マスク取り　みんな笑顔で　レク活動 ］　金阪 繁幸さん（京都地本・吹田車両所分会）